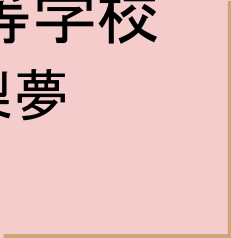




全世界の人を平等に

上田染谷丘高等学校
1年 柳澤梨夢



テーマ設定の理由

- ・日本は教育や福祉が発達している方だけでなく、発展途上国の手助けをしたいと思ったため。
- ・全世界通して格差のない世界にしたいと思ったから。

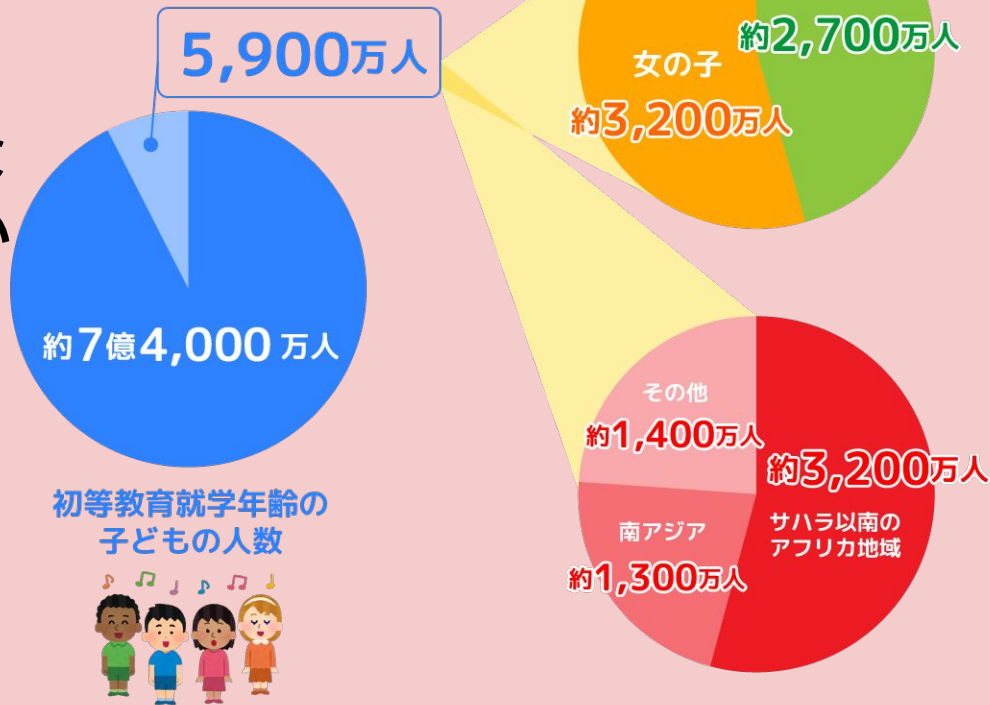
この課題に関わるSDGs番号



現状

- ・教育を十分に受けられていない子どもたちが5900 万人もいる。
- ・そのうちの半数以上はアフリカ地域や南アジアの子供が多い。

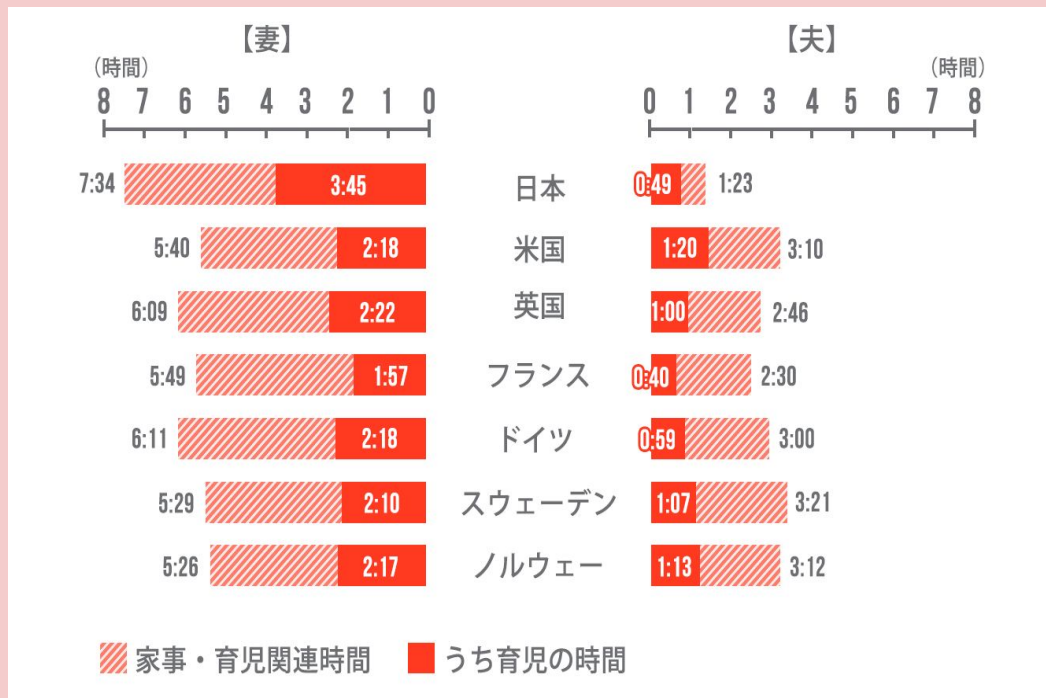
教育を十分に受けることのできない子どもたち



①これって男女平等？

・日本は家事や育児の時間が他の国よりも多い。
また、夫が育児に関わる時間はどの国よりも短い。

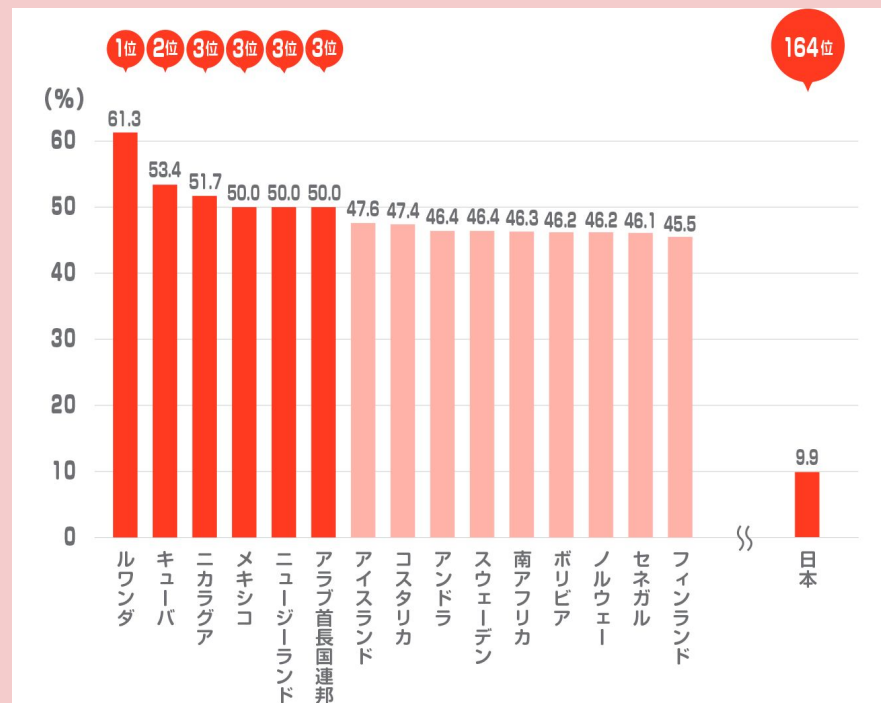
家庭でお父さんとお母さんが家事と育児に費やす時間(1日あたり)



②

- ・国会議員のうち女性が半分以上の国は6ヶ国しかない。
- ・日本はなんと164番目で女性議員は、全国会議員の10%にあたる。

各国の女性の国会議員の割合(高い順)



出典: UN WOMEN “Women in Politics: 2023”

課題・問題点

- ・発展途上国では子供が学校に行けていない 割合が多い。
- ・女性や女の子に対する差別がある。
- ・まだまだ男女平等の意識が低い。

解決策・提案

- ・こどもや男女のことなどをよく考えて学 校の施設を作る。
- ・男女の平等をすすめ、すべての女性があ らゆるレベルで能力を高められるように 適切な政策や効果のある法律を作る。

感想

- ・世界の教育についてや男女平等がどこまで浸透しているかが知ることができて良かったと思う。
- ・自分の身近なところから男女平等などは心がけていきたいと思った。